日本キリスト教団 東金教会〔６〕

２０２０年２月９日 降誕節第７主日礼拝

年度目標 《教会の民として生きる》

聖句 良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。声をあげよ、恐れるな イザヤ書４０章９節

【礼拝式次第】

司式	武田	
奏楽	中村	
受付	鈴木	
案内	武田	
名札係	藤田	
礼拝感謝祈祷	五木	田
〃 〃	阿波	谷

前奏	中村	
讃美歌	６	一同
使徒信条	５６６	〃
交読文	５	司・会衆
主の祈り	５６４	一同
聖書朗読	武田	
ガラテヤ書６：１～１０		
祈祷	武田	
新聖歌	２５５	一同
み言葉の伝え	中村	
〈柔和な心〉		
讃美歌	５０８	一同
献金		
礼拝感謝	五木	
〃 〃	阿波谷	
報告	武田	
頌栄	５４１	一同
祝祷(派遣)	中村	
後奏	新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 ２月１２日(水)19:30～
早天祈祷会 月～金7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習 本日礼拝後
定期長老会 本日礼拝後
聖書輪読会 ２月１６日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 ２月１６日(日)10:25-10:30

【報告】

☆２月説教担当は第３週の１６日は中村牧師が担当、第４週の２３日礼拝は朴 貞蓮牧師が担当されます。尚、第３週の朴牧師は目白教会でのご奉仕です。

☆１月２１日(金)教会学校生徒及びＣＳ教師幼稚園・保育園教師等を中心に焼肉パーティーが予定されております。午後７時開始です。お肉200グラムの持ち寄りです。お時間のあります方はぜひご参加下さい。

☆クリスマス献金は２月９日現在573,200円でございました。使途につきましては以下の通りです。

・献金送付先

敬和学園,愛農高校,にじのいえ信愛荘,日本聾話学校,日本聖書神学校,支区教職互助献金,日本ユニセフ協会,支区社会部,千葉県テレビ伝道会,かにた婦人の村,のぞみの門,支区内諸教会(小見川,木更津,ユーカラが丘),東金教会出身教職,全国教会青年同盟,FEBC放送,止揚学園,マナの家,いのちの電話,美浜教会,京葉中部教会。その他幼稚園教諭及び教会諸奉仕者プレゼント、祝会経費等で教会出費総額は628,374円でした。

尚、教会学校からは日本キリスト教団教育委員会へ、幼稚園からは東日本大震災,マナの家,東金マザーズホーム,成東緑海会,千葉いのちの電話,海外医療協力会,日本ユニセフ協会,国境なき医師団,国際飢餓対策機構へ夫々献金が送付されました。

【２月９日～２月１５日誕生者】

○石丸 姉 ○井上 兄 ○岩崎 姉
○田中 姉 ○藤田 姉 ○石黒 姉
○内田日出子姉

※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(2/2)	13	２９	42
聖研祈祷会(2/5)	2	4	6
聖書輪読会(2/2)	2	3	5
教会学校(2/2)	8	15	23

早天祈祷会			
日	男	女	計
２/３	1	1	2
２/４	1	1	2
２/５	1	1	2
２/６	1	1	2
２/７	1	1	2

主日礼拝献金(２/２)……３０,７０２円
教会学校献金(２/２)……７,０００円

【今日のメッセージ】

題 〈柔和な心〉

聖書 ガラテヤ書６章１節～４節

１・問題が起こった中で

２・柔和な心で

３・キリストの律法

【次週(２月16日)礼拝式案内】

み言葉の伝え〈十字架を誇りにして〉
聖書 ガラテヤ書６章１１～１８節
交読文 ６
讃美歌 ７番 ５１５番
新聖歌 １８２番

【次週(２月16日)礼拝式当番者】

御言葉の伝え …	中村
司式者 …	足立
奏楽者 …	中里
受付者 …	今井
案内者 …	寺内
名札当番 …	王
礼拝感謝祈祷 …	安延
〃 〃 …	土屋
ｃｓお話し …	武田吉弘
会堂清掃者 …	薬師
〃 〃 …	
花係 …	猪野
看板書き …	澤本

【聖書から】

「霊の導きに従って歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。」

ガラテヤ書五章一六節

パウロはここで俄には信じられない事を語っている。「霊の導きに従って歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。」というのである。このパウロの言葉は幾つかの点で私達を躓かせる言葉である。第一に「霊の導きに従って歩め」とパウロは言う。霊とは言うまでもなく聖霊をさす言葉である。しかし私達はクリスチャンであれ誰であれ霊の導きなど信じている者は絶無に近いのではないか。私たち現代に生きる者は神と言われる超越者の霊でなく人間の理性を信じる者である。人間に具有する理性を思惟し、それを主なる手段として社会を構成し、社会の諸価値を定める。その積み重ねの中で私達の歴史は成り立っている。人間の姿勢を超えた神の霊の実在などは私達には迷惑であり、もしそれでも超越的霊の存在を認めるというなら、それは人間の理性中に内在し、その霊を持って人間の理性を内側からコントロールする霊とでも説明するか、あるいは超越者の霊など前世期の遺物であり、現代においてはそれは否定されるべきもの、せいぜい心理学に解消されるべきものと主張するかではないのか。

第二に、それ故にこそこのような霊に従えば「決して肉の欲望を満足させるようなことはない」などと世迷い事を言うことはできない。現実を見よ！、肉の欲に振り回され、喘いでいる人間の姿をみよ！、これが私達の言いたい事ではないか。この短文に於いてはこれに対する反論は書き切れない。けれども「信じる」ということは理性の延長線上にあるのではない。脳髄を絞り出し懸命に考えても、神の実在、聖霊の実在は証明されない。それは神の側から聖霊を通し絶えず示され続けるものであり、私達は黙ってこれを受け取ることしかできない。又、罪からの完全な解放も聖霊の充満があって初めて可能なことであり、私達はこれを信じ、完成を目指し信仰の道を歩み続けるだけである

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。